

解題書目 第四十二集

滝屋文書

続六

青森県立図書館

解題書目 第四十二集

滝屋文書

続六

青森県立図書館

序

「解題書目」第四十二集は、昨年度に引き続き「滝屋文書」の中から書状類を取り上げた。本書には、整理番号三二七から三二六までを掲載した。

滝屋文書とは、昭和三十七年に青森市の滝屋伊東善五郎氏から当館へ寄贈された同家伝存の古文書である。伊東家は青森の素封家で、代々廻船問屋を営み、諸藩の御用達を勤めるなど、正徳年間から明治時代まで青森市経済界に君臨していた豪商である。詳細は、第三集「滝屋文書」を参照していただきたい。

なお、史料の整理、解説等については、青森県文化財保護協会の鬼柳恵照氏、木村愼一氏、鈴木幹人氏にお願いをした。

平成二十六年三月

青森県立図書館

凡 例

一、文書目録については、番号（当館整理番号）年月日 書状内容 差出人 宛先の項目の順序で構成した。ただし、年月日については可能な限り表記し、資料に記載がないものは「不明」と表記した。

一、「瀧屋」の「瀧」は、「滝」に統一した。

一、うるう（閏、壬）の文字は、「閏」に統一した。

一、文書目録の「番号」の項に※印を記したものは、巻末に解説文を掲載した。

一、原本破損等により判読不能な箇所は、□で表記した。

目次

序	1
凡例	2
文書目錄	4
解讀資料	21

文書目録

番 号	年 月 日	書 状 内 容	差 出 人	宛 先
317 — 1	年代不明 8月1日	書簡届方依頼	白銀屋弥惣次	滝屋善五郎
2	8月1日	米相場の問い合わせ	三国屋勘右衛門	滝屋善五郎
3	8月1日	借金仲介依頼	金助	由蔵
4	8月1日	木綿売買の交渉	木や半五郎	不明
5	8月1日	米取引の不都合及び塩送付	伊七谷亀次郎	滝屋善五郎
6	8月1日	預金取立	浅之助	滝屋善五郎
7	8月1日	筈蕨の注文と代金支払	小山屋治郎助	滝屋善五郎
8	8月1日	預金の催促と平素の謝礼	木屋半五郎	滝屋善五郎
9	8月2日	塩などの追加注文	対馬得治	滝屋善五郎
10	8月2日	商品納入手違いの詫び	奥谷	多七・由蔵
11	8月4日	半紙、傘の注文	奥谷	大万・多七
12	8月4日	半紙等注文品送付願	奥谷	竺由蔵
※ 13	8月4日	米の動向伺い	金木屋甚左衛門	滝屋善五郎

番号	年月日	書状内容	差出人	宛先
317 14	年代不明 8月2日	舛目不足の詫び	相州屋長兵衛	△御店
15	8月3日	手形の件依頼	藤林	滝屋
16	8月3日	昆布買付交渉	得栄丸徳藏	滝屋善五郎
17	8月3日	悪米送付の詫び	子藏富藏長兵衛	木旦那
18	8月3日	支払い遅延のこと	笹森角次郎	滝屋善五郎
※ 19	8月4日	すば	伊七谷亀次郎	滝屋善五郎
20	8月4日	すばや注文	小笠原全曹	滝屋善五郎
21	8月4日	苺受取と値段問い合わせ	米屋理兵衛	滝屋善五郎
22	8月19日	柳万へ米依頼	米屋理兵衛	滝屋善五郎
23		茶代支払い	中嶋兵左衛門	滝屋善五郎
318 1	文政9年 8月9日	工藤次右衛門と合同駄下米	寺山久右衛門	滝屋善五郎
2	8月5日	追加米三百俵注文了承状	伊勢屋亀次郎	滝屋善五郎
3	8月6日	塩到着七島未着状	勇太	滝屋善五郎
4	8月6日	注文塩附上依頼	三上宇右衛門	滝屋善五郎

18	17	16	15	14	※	13	12	11	10	9	8	7	6	318 — 5	番 号
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	文政9年8月7日	年 月 日
8月11日	8月11日	8月11日	8月11日	8月10日	8月10日	8月10日	8月10日	8月10日	8月10日	8月10日	8月10日	8月8日	8月8日	御印米拝借返済状	書 状 内 容
松前栖原六郎兵衛より指示の品積出依頼状	御世話方礼状	御登荷物受領状	船積米駄下方催促状	米附下げする故塩附上げ下されし	預かり金百両返済願状	龍和丸へ締粕越後米等注文状	御蔵米買取依頼の件	送り荷船積依頼	駄下米並ミの綿の件	取引早取取様働き方報知状	注文品附上依頼	御送付御印米値くずれ防止依頼	御印米拝借返済状	御印米拝借返済状	書 状 内 容
近江屋忠治	紙屋佐太郎	近江屋喜右衛門	滝屋善五郎	越後屋源二郎	象牙屋弥三郎	白鳥只八	高森三四郎	柿崎忠兵衛	金木屋甚左衛門	九左衛門	伊勢屋亀次郎	伊勢屋亀次郎	伊勢屋亀次郎	川吉	差 出 人
滝屋善五郎	滝屋善五郎	滝屋善五郎	大三	滝屋善五郎	滝屋善五郎	滝屋善五郎	滝屋善五郎	滝屋善五郎	滝屋善五郎	滝屋善五郎	滝屋善五郎	滝屋善五郎	滝屋善五郎	滝屋善五郎	宛 先

番号	年月日	書状内容	差出人	宛先
319 1	文政9年8月12日	親市左衛門死亡通知	境市次郎	滝屋勘兵衛
2	8月12日	上白米三拾俵只今不出来二付断り状	栃万	〆御店様
3	8月12日	青森一泊帰礼状	忠兵衛	滝屋様
※ 4	8月12日	寒搦上白米十俵持合状	長内屋	
5	8月12日	品代支拂傍煙草注文状	伊勢屋亀次郎	滝屋善五郎様
6	8月12日	茶値段問合せ状	和田仁	〆御店様
7	8月13日	残分支拂通知	木屋安次郎	滝屋勘兵衛様
8	8月13日	志の巻着到の上荷送依頼	久二	〆様
9	8月13日	駄下米船積依頼状	稲美屋三左衛門	〆御印様
10	8月14日	取組方出来手配方依頼	岩見屋忠兵衛	勘兵衛様
11	8月14日	茶売捌方依頼	長尾四郎左衛門	滝屋善五郎様 御店衆中様
12	8月14日	米取組交渉の件	甚左衛門	勘兵衛様
13	8月14日	米五百七拾俵駄下となる	塩町稲美屋三左衛門	〆御店様 大万様
14	8月15日	金拾五両支拂状	菊屋伊兵衛	滝屋善五郎様

番 号	年 月 日	書 状 内 容	差 出 人	宛 先
319 15	文政9年8月15日	取組千二百俵中残分二百俵津出御印送付状	高森三四郎	滝屋勘兵衛様
※ 16	〃 8月15日	米取組交渉状	金木屋甚左衛門	滝屋善五郎様 勘兵衛様
17	〃 8月6日	米取組交渉状	金木屋甚左衛門	滝屋善五郎様 勘兵衛様
18	〃 8月16日	雜木積送状失念二付差送る旨通知	三厩淡路屋忠左衛門	滝屋善五郎様
19	〃 8月16日	六臣注文選不足二付御取寄被下度	黒石坂本金次郎	〃親方様
320 1	文政8年8月17日	駄下米不残相済状	工藤次右衛門	〃御印様
2	〃 8月17日	駄下米不残相済状（並駄ちん値上がり状報）	工藤次右衛門	〃御印様
3	〃 8月17日	輪竹拝借願	十	〃御店様
4	〃 8月17日	今日中船積催促状	大清阿波屋清藏	〃御店様
5		粉糠注文引受状	黒石柳万	〃御店様
6		津出印間違ひの件	長内屋覚兵衛	滝屋様
7		米値段五分引下方通知	村文	滝屋善五郎様
※ 8	文政9年8月18日	木屋船米積入契約礼状	金木屋甚左衛門	勘兵衛様 滝屋善五郎様
9 ①	〃 8月18日	受領証不参二付代金不渡状	黒石坂金	入山一御印様

番号	年月日	書状内容	差出人	宛先
320—9②	文政9年8月18日	受領証不参二付代金不渡状 (上々表御座在庫状況並に能し継注文の件)	黒石坂金	入山一御印様
10	8月18日	荷物船積依頼状	板柳松山久左衛門	滝屋善五郎様
11	8月18日	御用命承引可仕状	若狭屋吉兵衛	滝屋旦那様
12	8月18日	取組千百俵駄下通知	金木屋甚左衛門	滝屋善五郎様 勘兵衛様
13	8月19日	木綿取引状	伊勢屋亀次郎	滝屋善五郎様
14	8月19日	品代式拾両送金通知	川金	〆御印様
15	8月19日	木綿取引問合状	忠の	勘兵衛様
16	8月20日	買物代支払状	近太店	〆御店様
17	8月20日	米六百俵駄下引合依頼	工藤次郎八	〆御店様
18	8月21日	代金支払状	黒石坂本金次郎	滝屋善五郎様
※	8月22日	請求書間違訂正方願	大三	〆金二郎様
20	8月22日	金子返済状	〔平〕村林平左衛門	〆様
321—1	8月23日	外目貫目納得いかぬなら取決め延引下されたし	越後屋源二郎 松屋太三郎	滝屋善五郎
2	8月23日	松皮御附上願	中嶋太郎兵衛	滝屋善五郎

※ 16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	321 — 3	番 号
〃 8月	〃 8月	〃 8月 29日	〃 8月 27日	〃 8月 27日	〃 8月 27日	〃 8月 26日	〃 8月 26日	〃 8月 25日	〃 8月 25日	〃 8月 25日	〃 8月 24日	〃 8月 23日	文政9年8月23日	年 月 日
箱館者弥右衛門同居の件	倅又三郎下向世話方依頼	為登米送状渡方状	預り米受取被下度	竹原塩附上依頼	荷物積登せ依頼状	買物代金支拂状	代金支拂状	生鮭注文状	金五両支拂状	注文の文選早々御送り被下度	京松清出荷附上依頼	取引米運搬方依頼	間違ひ御届物藤林へ御渡し下さい	書 状 内 容
滝屋善五郎	京都松屋清左衛門	紙屋降助	平一 村林平左衛門	工藤次右衛門	近江屋喜右衛門	黒石柳屋藤左衛門	大与	沢屋藤兵衛	今二	黒石坂本金次郎	米屋庄太郎	平一	尾上連中	差 出 人
	滝屋善五郎	滝屋善五郎	〆御印様	〆御印・大万	滝屋善五郎	滝屋善五郎	〆御印様	滝屋御店様	滝屋御印様	滝屋様	滝屋善五郎	〆様	滝屋勘兵衛	宛 先

5	4	3	※ 2 ④	2 ③	2 ②	2 ①	322 1	22	21	20	19	18	321 17	番 号
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	文政9年9月1日	年 月 日
9月13日	9月6日	9月5日	9月4日	9月5日	9月6日	9月4日	9月3日	9月2日	9月1日	9月1日	9月1日	9月1日	油粕注文及米取組願	書 状 内 容
湯治見舞（礼）	取引承諾	取引承諾	手形紛失	塩代金	納付手形	依頼状	明樽返還	酒造米黒石仕入方の件	御手紙の件委細承知返事	御差引金額間違につき通知	大坂浅黄屋書状届の件	荷物送書の件	黒石米屋理兵衛	差 出 人
滝屋勘兵衛	滝屋勘兵衛	滝屋勘兵衛	関源蔵	関源蔵	関源蔵	関源蔵	淡路屋吉左衛門	滝屋勘兵衛	勘兵衛	浅黄屋	滝屋勘兵衛	小の三	滝屋善五郎	宛 先
㊦御印	㊦	㊦	滝屋内・山長	滝善	滝屋善五郎	山長	滝屋善五郎	㊦様	㊦様	滝屋善五郎	㊦様	滝屋善五郎	滝屋善五郎	

番号	年月日	書状内容	差出人	宛先
322 — 6	文政9年9月14日	湯治見舞(礼)	滝屋勘兵衛	△御店中
7	9月16日	病氣見舞	滝屋勘兵衛	△
8	9月20日	見舞返し	滝屋勘兵衛	△御店
9	9月20日	病氣見舞	滝屋勘兵衛	△御店
10	9月8日	商手形返還要求	丸屋十蔵?	宮崎庄兵衛
11	9月7日	病氣見舞礼	滝屋勘兵衛	△
12	9月7日	宮越彦兵衛より銭受取	不明	伊セ屋亀次郎
13	9月5日	注文小樽納入	桶屋宗吉	滝屋・勘兵衛
14	9月5日	諸品支払内訳	石郷岡直次郎	滝屋善五郎
15	9月6日	買物仕切送付方願	今	△御店
16	9月6日	取引品帳合依頼	不明	△御印
17	9月7日	送品帳合依頼	不明	△御店中
18	9月7日	残り米売買差略	金木屋甚左衛門	滝屋善五郎
19	9月7日	荷物送付書返還願	越後屋源太郎	滝屋善五郎

番号	年月日	書状内容	差出人	宛先
※322 20	文政9年9月6日	三厩屋洪水状況	由蔵	御店中
21	9月7日	請求書書違い訂正願	菊や	不明
22	9月8日	品代借用依頼	村林平右衛門	滝屋
23	9月8日	宿泊依頼	池田屋太郎兵衛	滝屋善五郎
24	9月9日	米価交渉	近忠	△御店
25	9月9日	代金延引願	若狭屋吉兵衛	滝屋善五郎
26	9月4日	品代借用依頼	若狭屋吉兵衛	滝屋善五郎
27	9月9日	品代借用依頼	越後屋源二郎	△御印
28	9月10日	品代確認通知	相沢屋長蔵	滝屋善五郎
29	9月10日	帳合依頼	今三上宇右衛門	滝屋善五郎
30	9月10日	手形送付	三徳	滝屋善五郎
31	9月10日	美濃茶注文	堺屋太右衛門	滝屋善五郎
323 1	9月12日	書籍返却	大万	△
2	9月12日	書籍返却	対馬得治	善五郎

16	15	14	13	12	※ 11	※ 10	9	8	7	6	5	4	323 — 3	番 号
〃 9月19日	〃 9月18日	〃 9月18日	〃 9月12日	〃 9月17日	〃 9月17日	〃 9月16日	〃 9月15日	〃 9月15日	〃 9月15日	〃 9月14日	〃 9月14日	〃 9月14日	文政9年9月13日	年 月 日
湯治見舞礼状	注文品未着交渉	逗留中の謝礼	仕入金払底	弘前取引先案内	宮崎喜兵衛の件	宮崎喜兵衛の件	預手形送付	注文依頼	支払金持参通知	支払状	利子納入延引願	金子五両受領書請求	酒樽返品願	書 状 内 容
野坂勘左衛門	五所川原高治	大津屋忠兵衛	小野貞吉	多七	勘兵衛	伊七屋亀次郎	伊七屋亀次郎	多七	近忠	油川菊屋伊兵衛	今三上宇右衛門	盛广	小野浜次郎	差 出 人
滝屋善五郎	滝屋	滝屋善五郎	込内・倉吉	込御印	込	滝屋善五郎	滝屋善五郎	込滝善	込滝善	滝屋善五郎	込御印	込御印	不明	宛 先

番 号	年 月 日	書 状 内 容	差 出 人	宛 先
323 17	文政9年9月19日	古手値段掛合	松山米蔵	滝屋善五郎
18	9月19日	支払通知	多七	㊦御印
19	9月19日	支払代金為替	工藤次右衛門	㊦御印
20	9月20日	支払通知	大与	㊦御印
21	9月20日	支払通知	大与	㊦御印
22	9月20日	頂戴物への謝状	柿崎卯兵衛	滝屋善五郎
324 1	9月21日	三喜交渉内容	多七	㊦御印・勘兵衛
2	9月21日	年賦金納入遅延	宮崎喜兵衛	滝屋善五郎
3	10月22日	荷誤送通知	栖原長兵衛	滝屋善五郎
4	9月21日	為替不渡り調査依頼	中嶋茂助	滝屋善五郎
5	9月22日	持合米融通依頼	塩屋宗左衛門	滝屋善五郎
6	9月22日	大坂宛為替依頼	工藤次右衛門	㊦二
7	9月24日	巻綱借用願	嶋村屋権助	滝屋善五郎
8	9月24日	小麦未着問い合せ依頼	大三大坂屋三郎右衛門	滝屋善五郎

22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	※	11	10	324 — 9	番 号
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	文政9年9月23日	年 月 日
9月14日	9月28日	9月27日	9月27日	9月27日	9月26日	9月26日	9月23日	9月26日	9月1日	9月25日	9月25日	9月25日	値段通知	書 状 内 容
残金支払通知	三徳丸為替手形	金銭支払帳合依頼	黒石得意先代金支払情況問い合わせ	買物代金支払通知	手形紛失再発行願	三徳出店への為替振込み	米代其他支払為替通知	納金帳合依頼	値段問い合わせ	船名知らせの依頼	様子問い合わせ	納品帳合依頼	値段通知	
工藤次右衛門	工藤次右衛門	盛より	扇屋又兵衛	三上宇右衛門	鍛冶弥兵衛	工藤貴右衛門	工藤貴右衛門	平八	平八	近江屋喜右衛門	六兵衛手代元司	成店	大三大坂屋三郎右衛門	差 出 人
𠂔御印	𠂔御印	滝屋善五郎	滝屋善五郎	滝屋善五郎	滝屋	𠂔御印	𠂔御印	滝屋	𠂔御店	滝屋善五郎	滝屋善五郎	𠂔御印	金太郎	宛 先

番号	年月日	書状内容	差出人	宛先
324 — 23	文政9年9月29日	品代金支払通知	今	㊦御印
325 — 1	10月7日	書状依頼	大坂薩摩屋喜六	滝屋善五郎
2	10月23日	帆立貝送付	藤野喜兵衛店	滝屋善五郎
3	10月25日	油値段交渉	丸屋伊兵衛	滝屋善五郎
4	10月25日	米値段交渉	丸屋傳四郎	滝屋善五郎
5	10月26日	注文鴨、玉子送付	栖原六郎兵衛	滝屋善五郎
6	11月1日	あら巻、昆布注文	馬澤喜兵衛	滝屋善五郎
7	11月1日	注文木綿入荷遅延	鈴木忠次郎	㊦御印
※ 8	11月2日	箱館弥平船積荷	竹野屋権四郎	滝屋善五郎
9	11月2日	正金支払難航	坂本金次郎	入山一御印
10	11月4日	米買付口上書	万吉	㊦御印
11	11月3日	米買付交渉	万吉	滝屋善五郎
12	11月29日	状況伺い	善五郎	㊦二萬吉
13	11月3日	別宅構交渉	高平	滝善

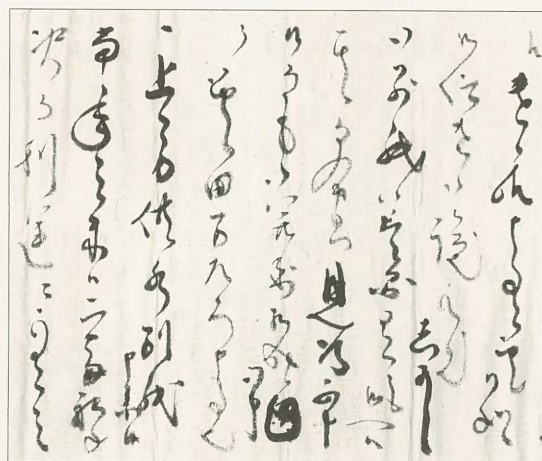
5	4	3	2	326 1	22	21	20	19	※	17	16	15	325 14	番 号
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	文政9年 11月4日	年 月 日
11月14日	11月13日	11月11日	11月11日	11月11日	11月10日	11月9日	11月8日	11月8日	11月8日	11月8日	11月6日	10月4日		
加州丸冬買来青	為登金四百兩	酒取引	拝借書籍返済	船問屋創業挨拶	手代世話方礼状・相場表	鋤耆丁注文	書状依頼	書状依頼	船入津の模様乞う	利足分取扱方	手形遅延	魚油捌方依頼	米値段交渉	書 状 内 容
不明	権四郎	近忠	伊七屋亀次郎	不明	吉田屋清六	亾	木谷賢治	正徳丸弥兵衛	能登屋忠兵衛	高森	三徳	中村屋新三郎	越後屋源二郎	差 出 人
嶋村兵衛門	善五郎	△御印	滝屋	滝屋勘兵衛	滝屋御店中	滝屋御店中	滝屋善五郎	滝屋善五郎	滝屋善五郎		滝屋・御店中	滝屋善五郎	△御印	宛 先

番 号	年 月 日	書 状 内 容	差 出 人	宛 先
326 — 6	文政9年11月16日	米代金支払	工藤次右衛門	〆御印
7	11月18日	米取組状況	滝屋勘兵衛	〆
8	11月18日	代金送付遅滞	勘兵衛	〆
9	11月19日	代金受取書請求	鈴木忠次郎	〆御印
10	11月19日	差引帳合依頼	村林勘	〆御印
11	11月18日	金子借用願	高三	滝や
12	11月18日	差引調方依頼	工藤次右衛門	〆御店
13	11月18日	米代金支払延引願	佐藤孫兵衛	滝屋善五郎
14	11月21日	米大豆等相場伺い	野村兵右衛門	滝屋善五郎
15	11月24日	小麦未着催促	大坂屋三郎右衛門	滝屋善五郎
※ 16 ①	11月22日	莚注文	長内屋	滝屋
※ 16 ②	11月26日	値下げ拒否	長内屋	滝屋
17	11月22日	送金通知	高森	滝屋
18	11月22日	手形送付	伊七屋亀次郎	滝屋善五郎

21	20	326 — 19	番 号
〃 11月 23日	〃 11月 22日	文政9年11月23日	年 月 日
弘前取引先為替	魚注文	八十兩送金	書 状 内 容
善五郎	角三	長内屋覚兵衛	差 出 人
三善藏	三御印	滝屋	宛 先

解読 317 — 13 米の動向伺い

先日の御印御開封 御
 差図 則御廻申上候 是欵
 藤林之分も不_レ殘御
 開封相成申候由 左様
 御承引可_レ被_二成下一候。
 一拾兩之受取書ハ貴家様
 二御有合無_レ之候由、是ハ
 此方へ承候所仰候て藤林



江遣候様申事ニ御座候 同処へ

被ニ仰遣一御覧可レ被レ下候。志かし

御別紙御差図有レ之候へハ

無ニ受取書一見得可レ申

候而も 御開封相成候趣御申
(由?)

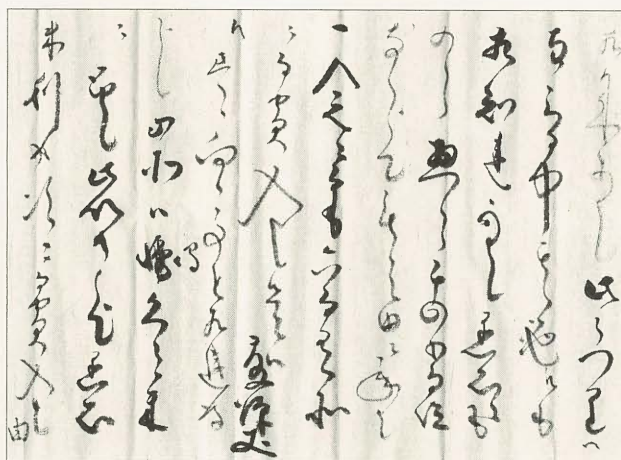
ニ御座候由、万左衛門申事也

一上方洪水別紙申参候

当年之米ハ二番船手

決而利運ニ可レ有レ之

奉レ存候 今之内ハ つまぬ
 〳と計、可レ申候へ共 向ケニハ
 積ものす具なし さて
 鰯ヶ沢之方杯ハ一昨日を
 大景氣と罷成申候 五所川原
 米貳拾八匁買人計
 恐らくは御存知之趣 壹斗六舛
 ならて無レ之候 夫々今
 すり米入まぜ拵米致候 而
 専ら相下り候段、申来候
 米ハ一舛足之下ニもくらべハ



相成不レ申候 此うつ里ハ

両三日中無レ之御座候も

相知 連可レ申候 黒石ニも

今惣テ千四百位

ならて無レ之由ニ承申候

一元ニ而も六百有所

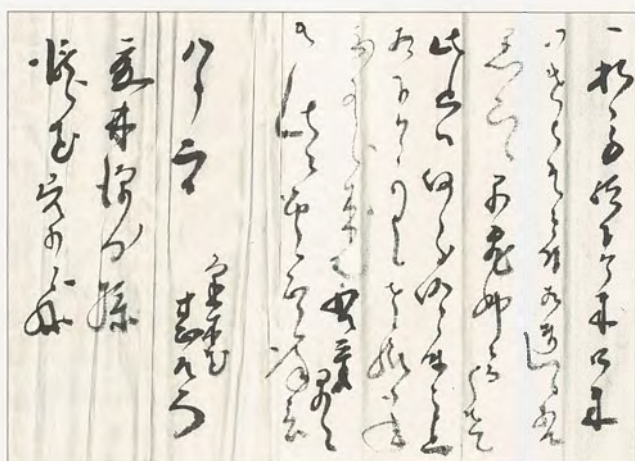
ニ而 買入申候 是ハ藤源丈

江 差向候事と相達存

申候 出所ハ鳴久之米

ニ御座候 此段御申上候 黒石

米利取次ニ而、買入申候由



一私方駄下ケ口米

御遣申上候ニ付 相送り書

黒石ニ早飛脚ニ而申遣候

此上ハ何分吟味ノ上

相下候ハ、可レ申候 左様御承

知可レ被ニ成下一候 右旁早々

如レ此ニ御座候 恐々謹言

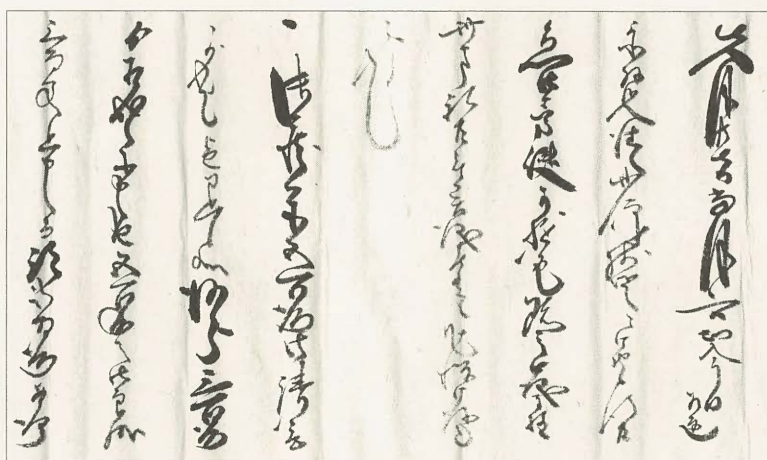
八月二日

金木屋甚左衛門

藤林源右衛門

滝屋善五郎様

解読 317 — 19 すぼ



先月廿七日 当月六日出、今日相違

忝拝見仕候。如レ仰残暑ニ御座候得共

愈御勇健可レ被レ遊ニ御座一、珍重御儀奉レ存候。

此方私共無異儀罷有候。乍レ憚御休意

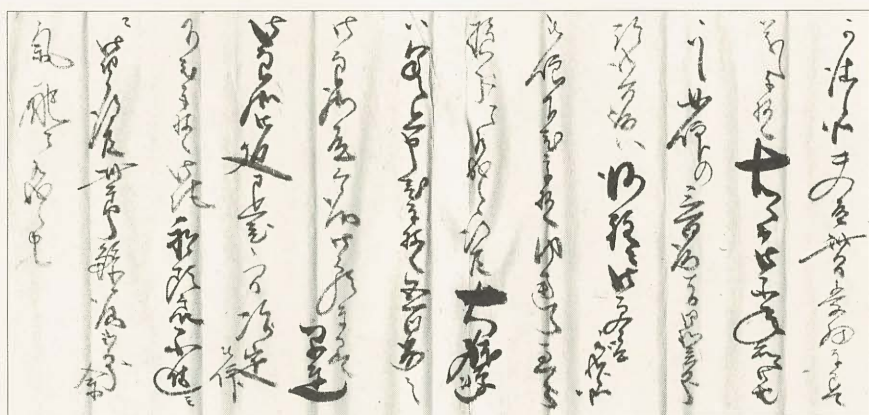
可レ被ニ成下一候。

一御藏米五百俵御請取

可レ被ニ成下一候与申上候処、何分三百俵

を相成り不レ申候由、五百俵之御印儀

三百差上申候間、跡貳百俵、如何



可レ仕候処 夫故此間委細奉ニ申上一候

義ニ奉レ存候。右ニ而 御不承知御座

候ハ、如レ仰の三百俵^者 四拾壹匁

跡貳百俵ハ 何程ニ御受取可レ被ニ成下一候哉、

被ニ仰下一度、奉レ存候。内通り過分

損分ニ相成候得共、右駄受取ニ

ハ差上申度、奉レ存候。五百俵之

御印儀故 受取御願奉レ存候。早速

御印儀御廻申上度候間、跡定被ニ仰

下一度、奉レ存候。御地船頭衆不進ニ

て御座候得共、此節鯨儀貳匁余

氣配ニ相成リ申候



一 末寿丸入津^ニ御座候 御願奉^ニ

申上^一候 木綿御除^キ被^ニ成下^一御座候。別^而

難^レ有奉^レ存候。右之内為^ニ手形^一者

最早參積樣儀も相濟度

入用無^ニ御座^一御座候 外品^者不^レ残

入用之由^ニ奉^レ存候

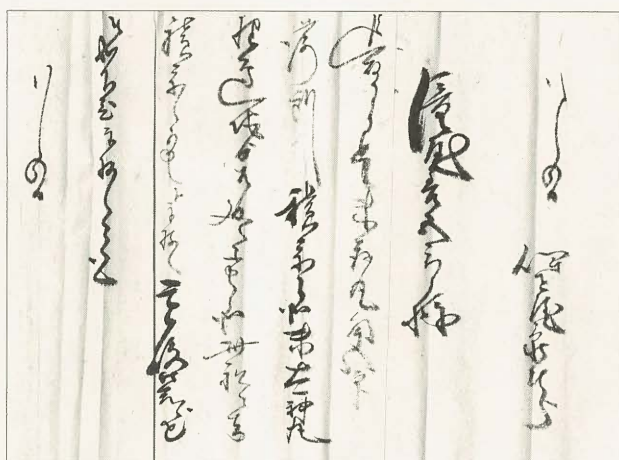
勘兵衛樣^江申上候夏衣類

并 塩御承知被^ニ成下^一千萬難^レ有

奉^レ存候。宜御願申上候 外別^而

相替儀無^ニ御座^一候得共、右旁申上度処

無^ニ御座^一候。恐惶謹言。



八月四日

伊せ屋亀次郎

滝屋善五郎様

追而申上候 末寿丸□□印

荷断候積参候処、未太神丸

野辺地^ろ御廻り不^レ申候、此船^{二者}

積参り可^レ申^ト奉^レ存候。御志らせ

被^ニ成下一度奉^レ存候 以上

八月四日

解説 318 — 13 預かり金百兩返済願状

熊水主之内六三郎喜人
 差遣し一筆啓上仕候
 益御勇健被レ成ニ御座一奉ニ
 弥賀一候。然ハ先達而ハ
 御世話ニ預リ難レ有仕合ニ
 奉レ存候。其節売物代
 残金百兩預ケ置申候。
 私儀も此方手仕廻
 相済、日和次第出帆

熊水主之内六三郎喜人

差遣し一筆啓上仕候

益御勇健被レ成ニ御座一奉ニ

弥賀一候。然ハ先達而ハ

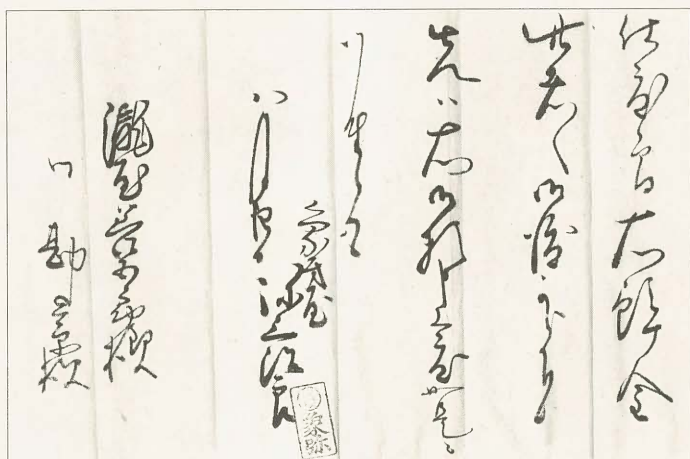
御世話ニ預リ難レ有仕合ニ

奉レ存候。其節売物代

残金百兩預ケ置申候。

私儀も此方手仕廻

相済、日和次第出帆



仕度候間、右預ヶ金

此者へ御渡可レ被レ下候。

先ハ右御願申上度如レ是ニ

御座候。以上。

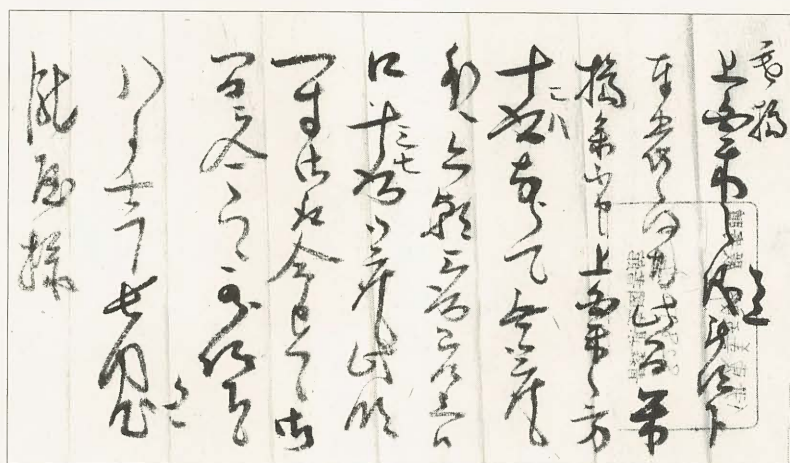
象牙屋弥三治良（黒角印）

八月四日

滝屋善五郎様

同 勘兵衛様

解読 319 — 4 寒搗上白米十表持合状



寒搗

口上

上白米之儀被ニ仰下一

奉レ畏候得共、此間米

搗參不レ申、上白米之方

十俵^{三八}ならて、無ニ御座一候。

外ニ今朝三俵差上候

四十俵^{三七}御座候。此段

一寸御取合申上候。御

間ニ合候ハ、可レ被ニ仰下一候

以上

八月十二日

長内屋

滝屋様

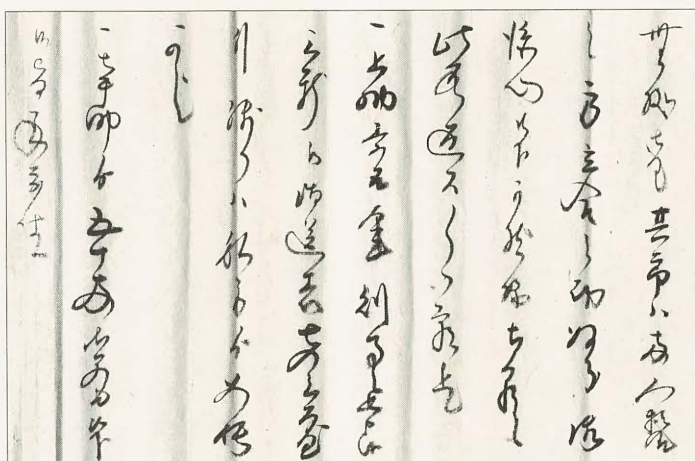
解読 319 — 16 米取組交渉状

十四日付貴書拝見仕候。然ハ
 私方飛脚歸之節、委細
 被ニ仰下一、尚又、今日追細被ニ仰下一
 候趣、段々難レ有奉レ存候。
 一私印米木谷船江、御進
 五百俵御積渡被レ下候よし
 廻し方之義も御手配通四斗
 廻り二相成候旨、重々安心
 仕候。必竟万端御加勢

御下候處、右之通相成可申
 御憚中之程千万難有奉存候。
 残米積船、今相分り
 不申ニ付御座候、知合之方兩人
 相願、御同人方一兩日中
 歸可申旨申上候由、以之外ニ御座候。
 何卒御世話被下候而、不殘同人
 共立合相渡候様、仕度奉存候。
 一藏米三拾俵も御人被遣
 同人共立合之上、早速御渡
 被下度、奉願候。残駄下ケ

今日又々飛脚差遣候処
 今日八十俵相下ケ候得共千百
 俵皆下ケ二相成候旨、右之分
 ハ明日・明後日中相下ケ
 候様申参候。
 一兩人御地出立可レ仕や。然ハ
 大演伊東屋・升川屋・廣田屋
 之内二兩人共戻可レ申旨、黒石
 方も申参候。依而明日残米
 御積渡被レ下候様、何分御差順
 被レ下様左様相成候ハ、右

うけし申し候下
 とふそ兩人立合二而、御
 積渡被_レ下候様、何分奉_レ願候。
 何れ先飛脚二而も申上候通、
 此度ハ格別御苦勞不_レ被_レ下
 候而ハ、首尾能四斗廻り
 積渡二相成申問敷候間、何分
 御苦勞奉_レ願候。夫共当分
 積渡不二相成一、兩人長逗留
 も不二相成一候而、御地知合之方
 頼合罷歸り候義二御座候得ハ、



無レ抛御座候。其節ハ兩人寄合

之方立合之吻、何分御

添心被レ下、可レ然様、奉レ願候。

此段返ス〈御願申上候。

一上納受取書則差上申候。

三新江御送表七貫三百匁

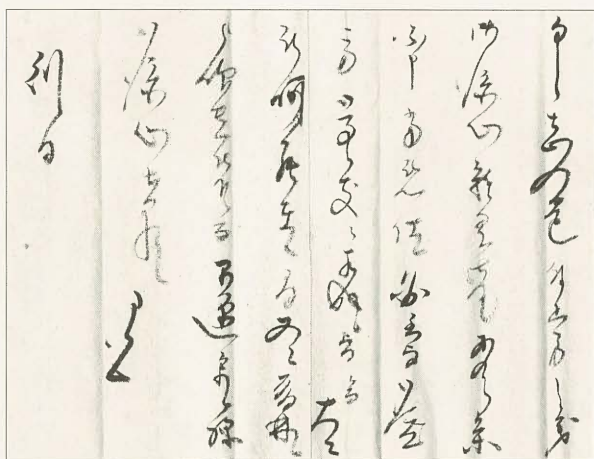
引残りハ私方御入帳

可レ申候。

一幸助方五十兩御受取被レ下

候旨、承知仕候

御座
 一津出御印五百俵百九十八番
 差上申候。右之内式百俵ハ
 高森^カ御受取可^レ被^レ下候。又、五百俵
 ハ私方千百俵残り^江御受取
 可^レ被^レ下候。残式百俵ハ貴家様
 御願書ニ被^レ遊廻^而、右御願
 書御廻可^レ被^レ下候。右貴約御座候
 御願申上度、早々如^レ斯御座候。
 恐惶謹言。已上。
 八月十五日 金木屋甚左衛門
 滝屋善五郎様
 勘茂様



尚々志の卷付上方之義

御添心難_レ有奉_レ存候。尔_レ今参

不_レ申当惑仕候。必至_与御渡

方御差支_二相成候旨_二而、大_二

被_レ呵、罷有候間、又々藤林へ

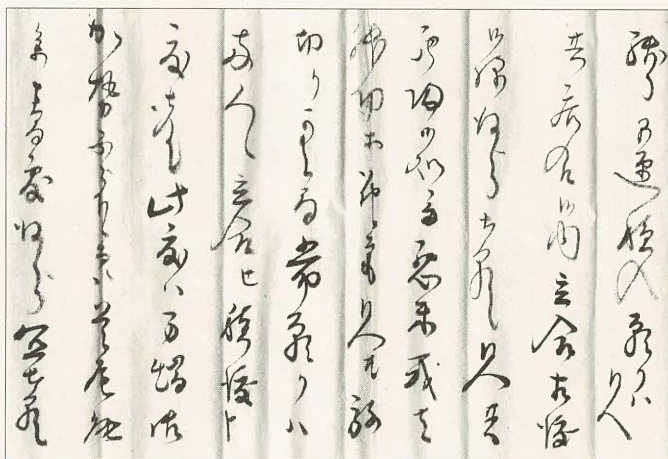
被_二仰遣_一、被_レ下候而、早速参候様

御添心奉_レ願候。已上。

則日

解説 320 — 8 木屋船米積入契約礼状

急々御届候人遣候ニ付申上候
 昨日貴家様方大九まで
 之飛脚江先日被ニ仰下一候
 上納御受取書並御印五百俵
 差上申候。御入手可レ被レ下候。
 一米之儀五百俵、木谷船へ
 御積入被レ下候由、千万難レ有
 奉レ存候。舁目も四斗ニ相廻り
 候よし、必竟御添心、被レ下
 御処分、右体相成可レ申候。此上



残り早速積入預りハ同人

共、居合候内立合相渡

候様、何分奉レ願候。同人共

罷歸候処ニ而、悪米或者

殘切等御座候而も、同人共駄

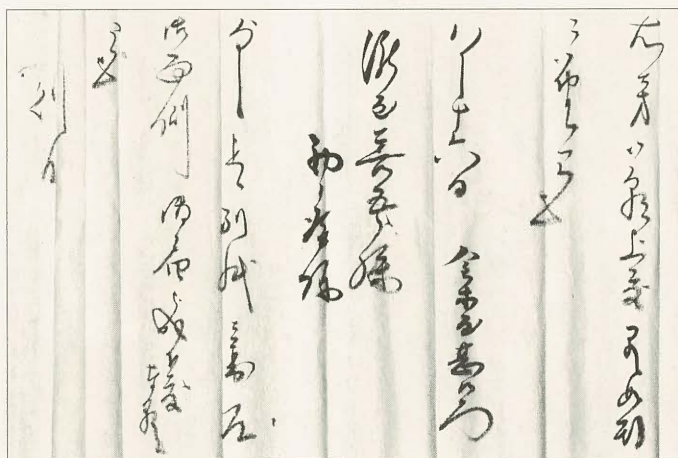
切り可レ申候間、希願クハ

兩人へ立合せ、積渡申

度、奉レ存候。此度ハ万端御

加勢不レ被レ下候而ハ、首尾能

參申間敷、何分宜奉レ願候。



右旁御願申上度、早々如レ斯

御座候。已上。

八月十六日 金木屋甚左衛門

滝屋善五郎様

勘兵衛様

尚々申上候別紙之義乍ニ

御面倒一御届被ニ成下一度、奉ニ願上一候。

已上

則日

解読 320 — 19 請求書間違訂正方願

口上

一 油町北廿貫

銀八貫三拾匁余

一 錢ノ九貫三百匁余

右之通私扣ニ御座候。然処

銀九貫七百匁余と申参候

左候て過分之間違ニ相見得

申候間、早速御調書被レ遣

被レ下候様、御店中様へ

も何れ可レ被ニ成下一候。今日金子

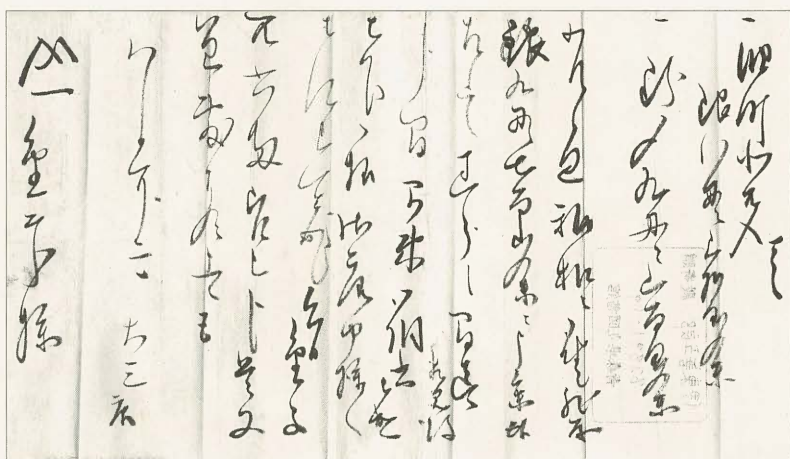
共六両差上申候。是又

宜敷奉ニ願上一候。已上

八月廿二日

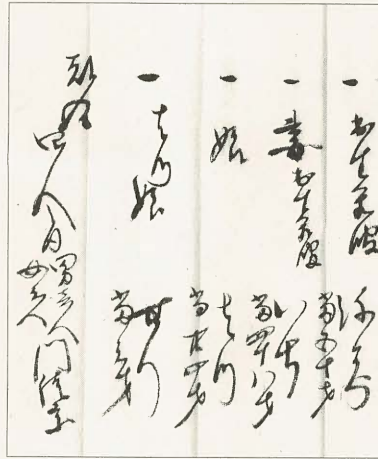
大三店

公金二郎様



解読 321 | 16 箱館者弥右衛門同居の件

乍恐以二口上書一申上候。私嫁類
 生国箱館之弥右衛門、是迄蝦夷地
 相働渡世罷有候処、老年二相成候。
 商売躰行届不レ申候二付、家内四人
 此度越後之弥右衛門船二乗参候
 而、私方へ同居之上、養育二預
 り度旨、頼合二御座候。尤同人義
 惟見捨被宿之者二御座候付
 不レ得レ止事、私方へ同居之上、往々
 養育仕度、奉レ存候間、則弥右衛門家内
 左二奉二申上一候。



一出生箱館

弥右衛門

一妻出生箱館

当五十才
いち

一娘

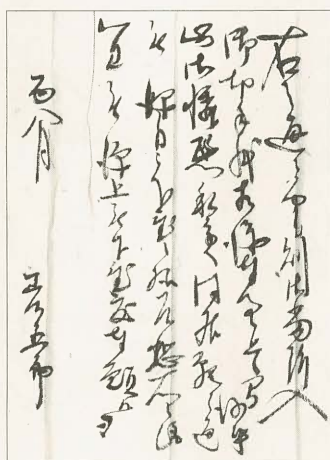
当四十八才
はつ

一はつ娘

当廿四才
せつ

都合四人之内

当三才
男老人
女三人
門徒宗



右之通ニ御座候則御当所入

御切手紙相添、奉ニ差上一候間、何卒

以ニ御憐愍一私方へ同居願之通

被ニ仰付一被ニ下置一候様、乍レ恐右之趣

宜被ニ仰上一被ニ下置一度、奉レ願候。

以上

酉八月

善五郎

解読 322 — 2④ 手形紛失

先日の手形、川内屋ヲ以、御□□ん
御趣し可レ被レ下候。当月相過キ
申候 而ハ、手形相渡シ不レ申候。其上
失紛之訳、書付旁御迷惑ニ
可レ有ニ御座一候ニ而、何連共取計
可レ申候間、早速御聞申候。
□□□□□□以上。
九月四日

表書き

滝屋内

山長様

源 蔵

内事

口 啓

御紙

先日之、差上候約束手形

何連私方ニ而、取計年季中

相談之上相済可レ申与御座候間、

先日之手形、川内屋ヲ以、御□□ん

御趣し可レ被レ下候。当月相過キ

申候 而ハ、手形相渡シ不レ申候。其上

失紛之訳、書付旁御迷惑ニ

可レ有ニ御座一候ニ而、何連共取計

可レ申候間、早速御聞申候。

□□□□□□以上。

九月四日

解読 322 — 20 三厩屋洪水状況

一筆奉啓上候、秋冷ニ
御座候得共、益御機嫌
能被^レ為^レ遊ニ御座一、恐悦
奉^レ存候。私方無ニ別条一罷有候。
乍^レ恐御安慮可^レ被^レ下候。
一昨日湯元ニ而三馬屋
洪水ニ而、老軒も不^レ残
流失仕候由、承り、則時
湯元出立当処へ

一筆奉啓上候、秋冷ニ

御座候得共、益御機嫌

能被^レ為^レ遊ニ御座一、恐悦

奉^レ存候。私方無ニ別条一罷有候。

乍^レ恐御安慮可^レ被^レ下候。

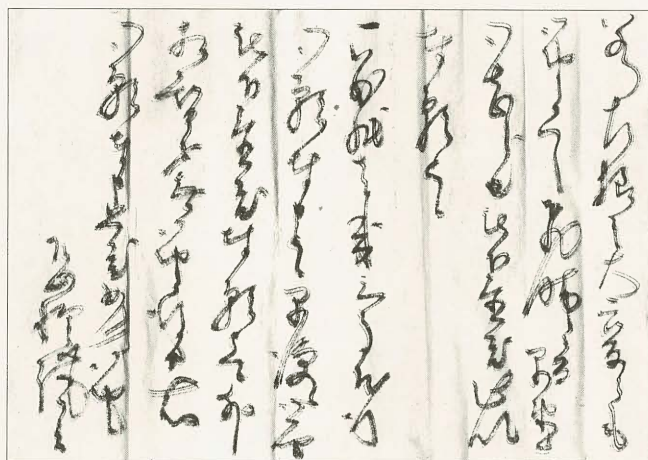
一昨日湯元ニ而三馬屋

洪水ニ而、老軒も不^レ残

流失仕候由、承り、則時

湯元出立当処へ

参承候所、一向相分り
 不レ申候ニ付、三馬屋町奉行
 菊地源助様御屋敷へ
 罷上り、様子承候所
 左様之義有レ之候得^者、此方へ
 志らせ可^レ有^レ之候得共、何之
 様子も無^レ之、只、山少々
 くつれ候得共、村々ハ別条
 無^レ之由、御咄候付、今日
 又々湯元ニ罷歸り申候。



若左様之大変ニモ

御座候ハ、飛脚ニ而早速

御志らせ被ニ下置一度此段

奉ニ願上一候。

一別紙沓封来三馬屋行

御願奉ニ申上一候、早便ニ御届

被ニ下置一度、奉ニ願上一候外

相替義無ニ御座一候得共、右

御願奉ニ申上一度如レ此御座候

恐惶謹言

九月六日朝
 由藏
 滝善五郎様
 御店中様
 尚々、私義山方の湯段
 与申所ニ入湯仕罷有候。
 此段共奉ニ申上一候以上

九月六日朝

由藏

滝善五郎様

御店中様

尚々、私義山方の湯段
 (ママ)

与申所ニ入湯仕罷有候。

此段共奉ニ申上一候以上

解読 323 — 10 宮崎喜兵衛の件

一筆啓上仕候秋冷

御座候得共益御壮健可_レ被_レ遊二

御座一奉二恐賀一候。

一宮崎喜兵衛殿一件

段々懸合二及候処兎角

言訳 而已二而趣意申二付

なも無二御座一困入申候。

此度、家屋敷明渡し申候

義八、土手之中村_{江家}

屋敷引当_{二而}貳拾貫匁

所 出 國 産 金 銀
 形 力 亦 好 此 一 信
 金、 古 時、 積 聚
 一 物 亦 方 無 二 候 由
 所 出 之 金 銀 亦 方
 好 亦 好、 亦 好、
 所 出 之 金 銀 亦 方
 亦 好、 亦 好、 亦 好
 亦 好、 亦 好、 亦 好
 亦 好、 亦 好、 亦 好

外ニ御困意之方々三拾(ママ)匁

都合五拾貫匁之借

金へ相渡り候積りなれハ

一錢茂当方無ニ御座一候由

依而いせ亀様、油元

様江亦段々相談仕候

得共、逆も埒明不レ申様

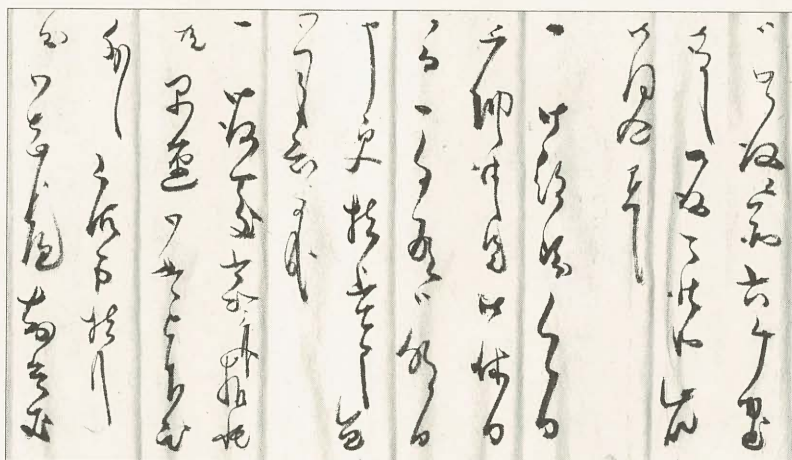
御座候。尤々三無尽

錢四度迄懸、其後

いせ亀様ニ而懸続候ハ、

貳貫匁向ハ右手形之

内へ相渡り可レ申候。其外



ハ如何ニ一所六ツケ敷

御座候。如何可レ仕哉此段

御伺合申上候。

一御預鈴今日

上納御座候得共御休日

二而一手形八後日

申受指上可レ申候。宜

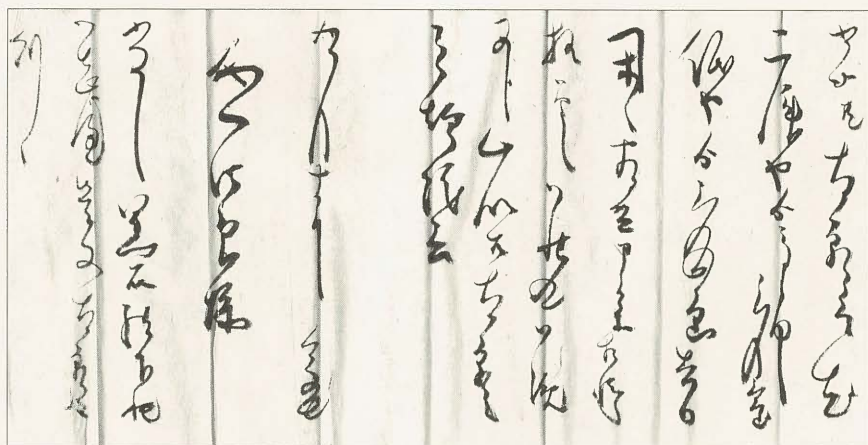
御用意可レ被ニ成下一候。

一如何敷書出し外扣帳

共、早速御書下被レ下度

外之店方指引

分御志らべ、前書文



書出共奉ニ願上一候、尤

唐や方之申内ニ、三、三百匁

紙や方三、四百匁、去日

木へ為替申参相渡し

様御座候御帳合御覽

可レ被レ下候、此段共奉レ願候。

恐惶謹言

九月十七日 いせ亀

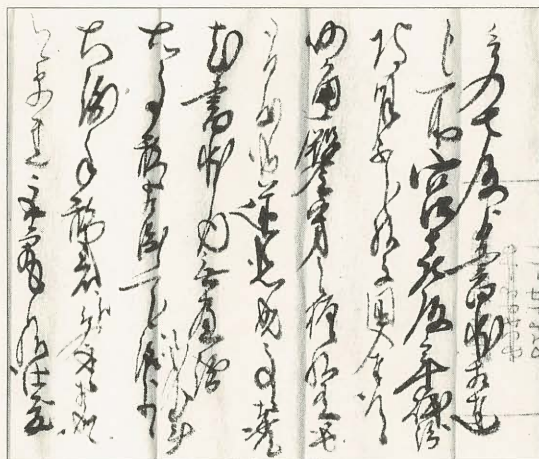
△御印様

尚々黒石駄下扣

御志らべ是又奉レ願候

則日

解説 323 — 11 宮崎喜兵衛の件



多七殿方書状相達

申候所宮喜殿年賦銭

埒明不_レ申様子困入奉_レ存候

何角鑿穿之程約定遣_?_?

被_?_?下度儀迷惑成ル事ニ奉_レ存候

尤書状内無尽銭貳_?匁計

右手形ニテ相渡シ可_レ被_レ下趣、参候

右銭手形表受取ニ相成候

ハ、早速取究候様仕度



右^者。何連御相談御報成し

御座候

一二津屋紙屋注文御

為替之儀当座帳ニ扣御座候

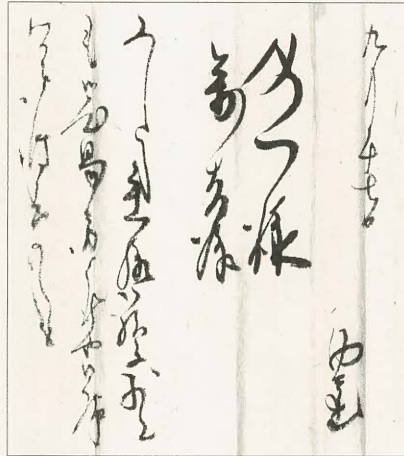
筈御差引ニ御かひ御遣可^レ被^レ下候

黒石駄下帳是亦早々

御調御遣御座候外ニ御用向

夫々被^ニ仰遣へ^一被^レ下候様仕度別ニ

右申上度、如^レ此御座候。以上



九月十七日

勘兵衛

平様

萬吉様

尚々 平様 御様子別ニ

も 御心易方ニ御座候也御序

宜御傳言可レ被レ下候。

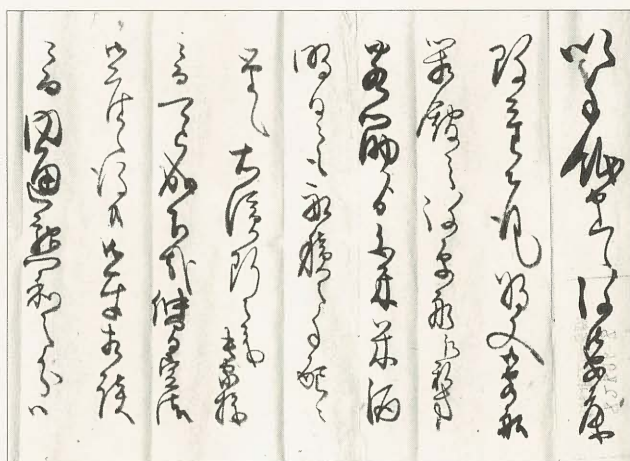
解読 324—12 船名知らせの依頼

一筆啓上仕候、秋冷
御座候得共、愈御安臥
被レ遊ニ御座一、奉ニ珍重一候。当方
無異罷在候
一先達而御願申上候上方
行紙包御届被レ下候ハ、
船名前御知らせ可レ被ニ成
下一候。嚙御面倒之段難レ有
奉レ存候。右申上度、如レ此御座候。
恐惶謹言
九月廿六日 近江屋喜右衛門
滝屋善五郎様

解読 325 — 8 箱館弥平船積荷

表書き

滝谷善五郎様 竹野屋権四郎



以ニ手紙ニ申上候。弥御安康

珍重奉レ存候。将又御客船

箱館之弥原船 江私方

客筋 白米、米酒

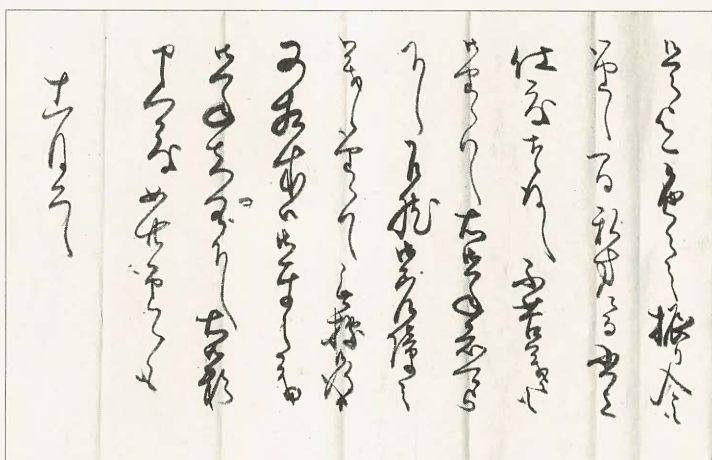
明日ニも船積之手配ニ

御座候。右濱断之義貴家様

ニ而可レ被ニ成下一哉、仲間定法

御座候得共、御互相談

ニ而内通懇和之分ハ



是込色々之振り合も

御座候間私方ニ而書上

仕度、奉レ存候。不レ苦義ニも

御座候ハ、右御承知可レ被レ

下候、乍レ然、御差障之

義御座候ハ、無レ據候得共

可ニ相成一候御互之義

御承知可レ被レ下候。右御願

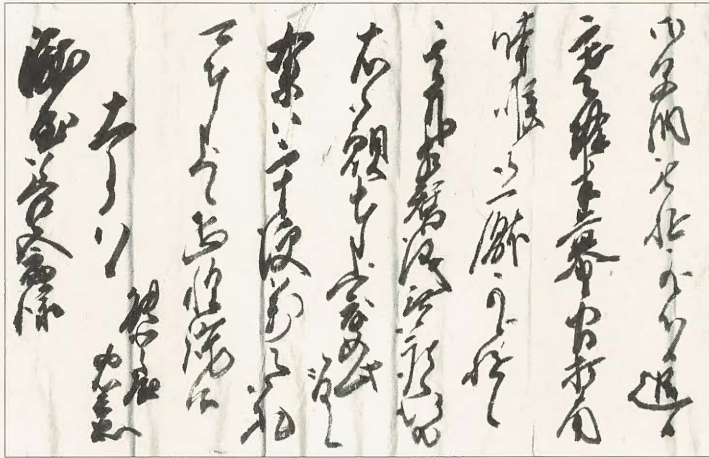
申上度、如レ此御座候。以上

十一月二日

解読 325 — 18 船入津の模様乞う

未タ不レ得ニ貴顔一候得と母
以ニ飛脚一筆啓上仕候。寒
冷ニ御座候得共、御揃益御勇健
被レ遊ニ御座一珍重御義奉レ存候次ニ
当方私共無異儀罷有候
一当地本庄屋清次郎船ニ
不レ得レ止事用事出来
仕候こと外て御地辻箱館
表より相廻り候積り

御座候間、右船参着次第
 近頃、乍ニ御世話一同人ニ御聞
 合無レ之候而、私方へ密ニ
 御知せ被下度奉ニ願上一候。
 尤飛脚賃之儀ハ少々
 高値ニ而も宜敷御座候間、
 参着次第早速御知せ
 被レ下度奉ニ願上一候余り
 簾抹之品ニ御座候得共
 八つ目少々差上ケ申候



御受納被_レ遊、可_レ被_レ下候、追而

寒冷相募候間、折角

時候、御厭可_レ被_レ遊候。

其外、相替儀無_ニ御座_一候得共

右御願奉_ニ申上_一一度如_レ此御座候

余ハ重便萬々御礼

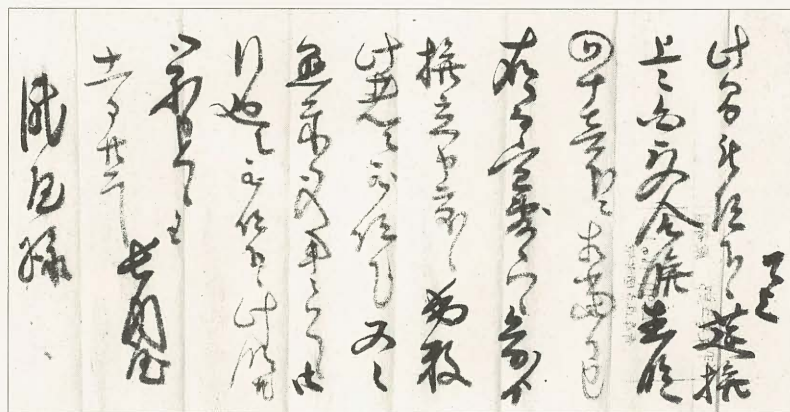
可_レ奉_ニ申上_一候。恐惶謹言

十一月八日

能登谷忠兵衛

滝屋善五郎様

尚々奉ニ申上一候若清次郎
 舟、御宿船ニテ無ニ御座一候ハ、
 別て、飛脚もの可レ奉ニ
 申上一候間、同人宿江尊家様
 よりも、一通御頼被レ遊
 被レ下度、是亦御願奉ニ申上一候。
 委細ハ飛脚もの口上ニテも
 可ニ申上一候間、左様御承知可レ被レ下候。
 何か当地御用事等御座候ハ、
 無ニ御心置一、被ニ仰下一度、此段
 共ニ奉ニ申上一候。
 則日



此間被ニ仰下一候蒔撰

上々白受合撰、直段

◎十老分ニ相当り申候

右ニ而宜敷候ハ、今日

撰立申度候。俵数

此者ニ可レ被ニ仰下一候。又々

懸米御入用ニ候ハ、御

引廻し可レ被ニ仰下一候此段共

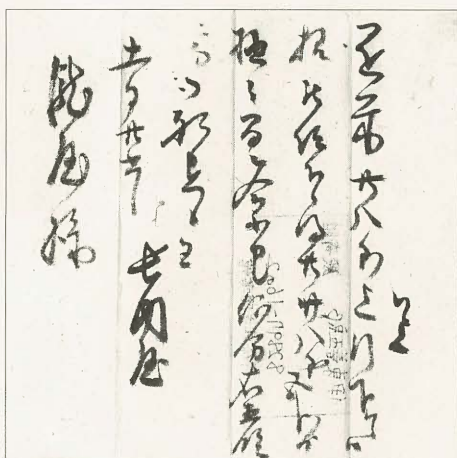
御願申上候。以上

十一月廿二日

長内屋

滝屋様

解読 326 — 16 ② 値下げ拒否



口 上

懸米廿八匁迄引下ケ候

様被ニ仰下一候得共、廿八匁五歩方

極々間ニ合不レ申候。何分右直段

ニ而御願申上候。以上。

十一月廿六日 長内屋

滝屋様

0 2 5 . 8

解題書目 第42集

青森県立図書館編

青森 青森県立図書館 2014(平成26).3

67 p 21cm

内容：滝屋文書 続6

平成26年3月6日 印刷

平成26年3月7日 発行

編集・発行

青 森 県 立 図 書 館

青森市荒川字藤戸119-7

Tel 017-739-4211(代)

Fax 017-739-8353

印 刷

株式会社 誠 工 社

青森市第二間屋町三丁目3-18

Tel 017-729-1611

Fax 017-729-1188

「青森県立図書館解題書目」刊行一覧

(第22集までは品切れです)

第1集	津 軽 史	昭和46年10月21日	発行
第2集	官省指令留・官省願伺	昭和47年3月10日	発行
第3集	淹 屋 文 書	昭和48年3月10日	発行
第4集	木 村 文 書	昭和48年11月25日	発行
第5集	多 門 院 文 書	昭和50年2月1日	発行
第6集	五 家 文 書	昭和51年3月31日	発行
第7集	萬 日 記 抄 一	昭和52年3月25日	発行
第8集	萬 日 記 抄 二	昭和52年7月28日	発行
第9集	萬 日 記 抄 三	昭和53年3月25日	発行
第10集	津 軽 史 解 説 目 次 抄 一	昭和54年6月25日	発行
第11集	津 軽 史 解 説 目 次 抄 二	昭和56年3月5日	発行
第12集	津 軽 史 解 説 目 次 抄 三	昭和57年3月15日	発行
第13集	津 軽 史 解 説 目 次 抄 四	昭和58年3月15日	発行
第14集	津 軽 史 解 説 目 次 抄 五	昭和59年3月25日	発行
第15集	萬 日 記 抄 四	昭和60年6月24日	発行
第16集	萬 日 記 抄 五	昭和61年6月26日	発行
第17集	萬 日 記 抄 六	昭和62年6月20日	発行
第18集	大 津 屋 文 書 一	平成元年1月31日	発行
第19集	大 津 屋 文 書 二	平成元年12月15日	発行
第20集	松 井 四 郎 兵 衛 留 書	平成3年1月18日	発行
第21集	伊 紀 農 松 原 一	平成4年3月31日	発行
第22集	伊 紀 農 松 原 二	平成4年10月30日	発行
第23集	与 之 遠 美 叢 遺 一	平成7年3月31日	発行
第24集	与 之 遠 美 叢 遺 二	平成8年1月31日	発行
第25集	与 之 遠 美 叢 遺 三	平成8年11月15日	発行
第26集	与 之 遠 美 叢 遺 四	平成9年9月10日	発行
第27集	与 之 遠 美 叢 遺 五	平成10年9月3日	発行
第28集	本藩明實録・本藩事實集一	平成11年10月1日	発行
第29集	本藩明實録・本藩事實集二	平成12年9月1日	発行
第30集	本藩明實録・本藩事實集三	平成13年9月4日	発行
第31集	本藩明實録・本藩事實集四	平成15年1月10日	発行
第32集	本藩明實録・本藩事實集五	平成15年10月30日	発行
第33集	工 藤 家 文 書	平成17年3月24日	発行
第34集	津 軽 史	平成18年3月28日	発行
第35集	津 軽 史	平成18年12月12日	発行
第36集	淹 屋 文 書 津 出 関 係 ほか 一	平成20年3月19日	発行
第37集	淹 屋 文 書 続 一	平成21年3月19日	発行
第38集	淹 屋 文 書 続 二	平成22年3月19日	発行
第39集	淹 屋 文 書 続 三	平成23年3月18日	発行
第40集	淹 屋 文 書 続 四	平成24年3月16日	発行
第41集	淹 屋 文 書 続 五	平成25年3月15日	発行
第42集	淹 屋 文 書 続 六	平成26年3月7日	発行

